

平成 27 年度当初予算案の概要

平成 27 年 2 月 17 日

高知県教育委員会

予算案額

総括表

単位:千円

会計区分	平成26年度 当初予算額	平成27年度 当初予算額	差額 (H27-H26)	対前年度比
一般会計	93,894,162	98,205,835	4,311,673	104.6%
高等学校等奨学金特別会計	434,995	408,243	△ 26,752	93.9%
土地取得事業特別会計	76,162	74,818	△ 1,344	98.2%
計	94,405,319	98,688,896	4,283,577	104.5%
一般会計(人件費)	74,203,162	74,946,786	743,624	101.0%
一般会計(人件費除く)	19,691,000	23,259,049	3,568,049	118.1%

主な増減項目 一般会計(人件費除く)

単位:千円

増減 区分	項目	H26当初	H27当初	増減額	備考
増 額	1 新図書館等整備事業費	2,421,945	4,834,721	2,412,776	建築工事請負費の増
	2 施設型給付費負担金	0	2,025,629	2,025,629	子ども・子育て支援新制度で創設される給付制度 (認定こども園、幼稚園、保育所を対象とした財政支援)
	3 青少年センター本館及び宿泊棟改築工事	0	525,080	525,080	工事期間 H27～H28
	4 高等学校等就学支援金事業費	625,980	1,108,220	482,240	高等学校等就学支援金、高校生等奨学給付金 支給対象 H26:1学年⇒H27:1・2学年
	5 スポーツ施設改修事業費	13,326	412,319	398,993	県立武道館耐震補強等工事
	6 中部教育事務所耐震等工事請負費	9,619	248,871	239,252	H26耐震設計→H27改修工事
	7 放課後子ども総合プラン推進事業	429,592	599,698	170,106	放課後児童クラブ施設整備助成事業費補助金(8か所増) など
	8 高校再編推進費	79,743	194,841	115,098	【新】グローバル教育推進事業
	9 施設整備費	0	70,856	70,856	中高一貫教育校及び高吾地域の拠点校の施設整備
主な増額 計		3,580,205	10,020,235	6,440,030	
減 額	1 南海トラフ地震に備える施設整備費	3,755,005	2,853,528	△ 901,477	平成26年度2月補正予算への前倒しによる減
	2 保育所運営費負担金	540,177	0	△ 540,177	子ども・子育て支援新制度の施行にあたり施設型給付費負担金 へ移行のため
	3 認定こども園施設整備費補助金	600,944	208,456	△ 392,488	対象施設の減(9件→4件)
	4 県立学校非構造部材耐震化事業費	534,539	155,420	△ 379,119	非構造部材の耐震工事の減 26年度予算でほぼ完了 一部の外壁・つり天井のみ27年度に実施
	5 保育所緊急整備事業費補助金	1,018,324	649,444	△ 368,880	対象施設の減(12件→9件)
	6 私立学校運営費補助金	553,563	281,126	△ 272,437	子ども・子育て支援新制度の施行にあたり施設型給付費負担金 へ移行のため
	7 高等学校等奨学金特別会計繰出金	259,412	126,655	△ 132,757	基金事業終了による減
主な減額 計		7,261,964	4,274,629	△ 2,987,335	

施策体系表

	H27	H26
1. 心身ともに健やかで「夢」と「希望」にあふれた土佐人の育成	601,376千円	(571,552千円)
2. 生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的な風土づくり	672,368千円	(629,704千円)
3. 高知県の強みを生かし、伸ばす取組の推進	162,948千円	(187,777千円)
4. 教育の原点である家庭の教育力の向上	1,477,380千円	(1,124,064千円)
5. 乳幼児期における親の役割の重要性を認識し、確かな「子育て力」を育成	8,613千円	(5,029千円)
6. 放課後や週末などに積極的に学校にかかわり、地域全体で教育を支援	649,572千円	(474,345千円)
7. 学校等で将来の基礎となる力を確実に定着	3,857,678千円	(2,948,592千円)
8. 教職員として日々研さんし、互いに高め合う取組の推進	99,874千円	(99,714千円)
9. 校長等のリーダーシップのもと意欲と活力に満ちた組織的な学校づくり	32,129千円	(28,240千円)
10. 学びの拠点である教育機関の整備・充実	7,143,771千円	(4,426,132千円)
11. 南海トラフ地震対策	5,428,447千円	(6,123,263千円)
12. 文化財の保護と活用	404,793千円	(426,921千円)
小 計	20,538,949千円	(17,045,333千円)
その他の管理運営費	77,666,886千円	(76,848,829千円)
合 計	98,205,835千円	(93,894,162千円)

平成27年度教育委員会予算のポイント

一般会計予算額
H27当初：982億円
[H26当初：939億円]

☆計画の最終年度となる『高知県教育振興基本計画 重点プラン』の目標達成に向けた取組を推進します。

☆厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実を図るとともに、高等学校再編振興計画の着実な推進や2020年オリンピック・パラリンピック東京大会を契機としたスポーツ振興など、将来を見据えた取組を進めます。

☆子どもたちの“命を守り、命をつなぐ”ための南海トラフ地震対策を推進します。

- 知** 小学校の学力は全国上位に、中学校の学力は全国平均まで引き上げる
- 徳** 児童生徒の自尊感情を育むとともに、社会性、規範意識を高める
- 体** 小・中学校の体力、運動能力を全国平均まで引き上げる

重点プランの「目標」
(～H27)

学力・体力のさらなる向上に向けた取組

◆小中学校の学力向上に向けた取組 p4

- 学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,040千円
- 算数・数学学力向上実践事業 3,339千円
- 拡** ○ことばの力育成プロジェクト推進事業 66,918千円
- NEW** ○英語教育推進プロジェクト事業 33,166千円

NEW ◆『スポーツ推進プロジェクト』の推進 ～2020年オリンピック・パラリンピック 東京大会を契機としたスポーツ振興～ p6

- 体育・健康アドバイザー支援事業 5,817千円
- 運動部活動サポート事業 7,385千円
- 競技スポーツ選手育成強化事業 91,925千円
- スポーツトータルサポート事業 4,809千円
- スポーツを通じたエリアネットワーク事業 5,701千円
- スポーツ施設等の整備
 - ・県立青少年センター体操床等の更新 34,565千円
 - ・高知東高校レスリング場の整備 25,387千円

NEW ◆探究型学習の推進 p5

- 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 11,510千円
- グローバル教育推進事業 98,068千円

厳しい環境にあり様々な課題を抱える子どもたちへの支援

「高知家の子ども見守りプラン」やいじめ防止対策を着実に推進するとともに、厳しい環境にあり様々な課題を抱える子どもたちに対して、発達段階に応じた様々な取組を充実・強化することで、貧困の連鎖を断ち切り、高知県の将来を担う子どもたちの健やかな育ちを支援する。

◆「高知家の子ども見守りプラン」の推進 p7

◆いじめ防止対策の総合的な推進 p8

◆厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実 p9

□就学前の子どもへの支援の充実

- 拡** ○親育ち・特別支援保育コーディネーターの配置拡充 19,740千円
- 拡** ○加配保育士の配置拡充 47,337千円
- NEW** ○一時預かり利用料の減免 1,674千円

□学習支援の充実

- NEW** ○放課後等学習支援員(小中学校)の配置 57,629千円
- 拡** ○学習支援員(高等学校)の配置拡充 13,993千円
- 拡** ○放課後学びの場における学習支援の充実

□教育相談体制の充実

- 拡** ○スクールカウンセラー心の教育アドバイザー等の配置拡充 184,911千円
- 拡** ○スクールソーシャルワーカーの配置拡充・重点配置 100,868千円

学校等における南海トラフ地震対策 p11

南海トラフ地震から“子どもたちの命を守り、命をつなぐ”ため、学校施設等の耐震化や保育所等の高台移転などの対策を促進するとともに、防災教育を徹底する。

- 県立学校施設の耐震化 3,008,948千円
- 公立小中学校の耐震化 137,326千円
- 保育所・幼稚園の耐震化 696,576千円
- 保育所等の高台移転に伴う施設整備への補助 312,550千円
- 防災教育推進事業 15,710千円

非常口



地域と学校が絡むみで子どもたちを育む取組 p10

ユニバーサルデザインによる授業改善や開発的な生徒指導などの課題解決型の効果的な取組とともに、地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制づくりを進め、地域と学校が絡むみで子どもたちを育む取組の定着を図る。

- 拡** ○地域をつなぐ！子どもが伸びる！ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト 8,469千円
- 拡** ○高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 8,108千円
 - ・志育成型学校活性化事業 5,256千円
- NEW** ○未来にかがやく子ども育成型学校連携事業 2,852千円

つながり

- 拡** ○学校支援地域本部等事業 41,679千円
- 拡** ○放課後子ども総合プラン 599,698千円

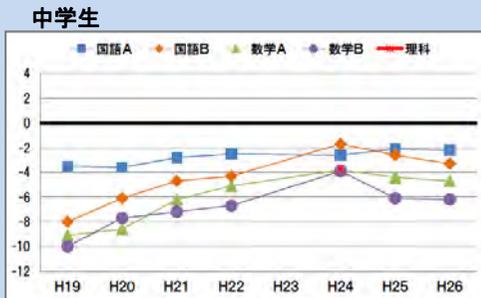
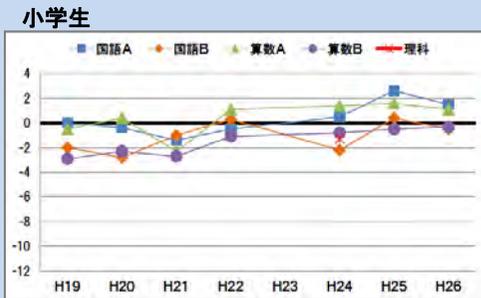
県立高等学校再編振興計画の推進 p12

学力向上に向けた取組

小中学校課・教育センター

現状

全国学力・学習状況調査結果(全国と本県の平均正答率の差)から



小学生は、すべての教科で改善傾向にある
 中学生は、改善傾向にあるが全国平均には達していない。特に、B問題に対応する力に課題がある

H27目標

小学校の学力は全国上位に
 中学校の学力は全国平均まで引き上げる!

児童生徒の思考力や表現力の育成

さらなる学力向上を目指して!

学力向上のPDCAサイクルの構築



取組

学校経営力の向上

学力向上のための学校経営力向上支援事業 20,040千円

- 各小中学校で中期的な視野に立った「学校経営計画」の作成
- 学校経営アドバイザー(7名)による学校への支援
- 中学校学力向上推進校への支援訪問(18校指定)の実施

NEW 放課後等における学習支援事業 57,629千円

授業の質・教科専門力の向上

NEW 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 11,510千円

- 各教科との連携を図った総合的な学習の時間の研究と実践(指定校:中5校)
- 各教科における探究的な学習(授業づくり)の研究と実践
- ICTを活用した授業研究

拡 ことばの力育成プロジェクト推進事業 66,918千円

- 全国学力・学習状況調査のB問題で求められる児童生徒の思考力や表現力の向上
- 国語課題克服指導資料集の作成及び活用
 - 中学校国語授業改善研究協議会の開催
 - 各教科等における思考力や表現力の向上
 - 学校図書館活動の充実
 - NIE活動の推進
 - 国語学習シートの活用
 - 指定校21校(重点校3校、推進校18校)

理科教育推進プロジェクト 6,623千円

- 理科の中核教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成(年間10名程度)
- CST活動の充実【拠点校8校(小3校、中5校)】
- 科学の甲子園ジュニア(中学生部門)の実施
- 理科支援員配置事業の実施
- 理科思考力問題集の活用



児童生徒の学力定着状況の把握

高知県学力定着状況調査実施事業 30,126千円

児童生徒の学力定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善を行う。

- 【小学校第4学年】国語・算数
- 【小学校第5学年】国語・算数・理科
- 【中学校第1・2学年】国語・社会・数学・理科・外国語

調査実施日
平成28年1月12日(火)

全国学力・学習状況調査

- 【小学校第6学年】国語・算数・理科
- 【中学校第3学年】国語・数学・理科

調査実施日
平成27年4月21日(火)

NEW 英語教育推進プロジェクト事業 33,166千円

- 外国語教育の中核となる「コア・ティーチャー」の育成(年間20名程度)やコア・スクールの充実(小4校、中4校)
- 英語学習への意欲の向上に向けた教材の作成
- 早期英語教育の地域拠点モデルの構築
- 小学校外国語活動の教科化を見据えた集合研修やe-Learning研修の実施
- 中高英語教員の専門力向上のため、英語授業力向上研修やe-Learning研修の実施
- 土佐教育研究会や高等学校教育研究会との連携による英語教員研修の実施

高知県英語教育推進のためのガイドラインに基づく取組の充実



算数・数学学力向上実践事業 3,339千円

- 授業改善プランに基づく支援訪問の実施
- 数学思考力問題集、数学B問題集の活用
- 単元テストや算数・数学シートの活用
- 算数・数学思考オリンピックの実施
- 採用10年未満の中学校数学教員を対象に教育センターで半年間の研修を実施
- 教科ミドルリーダー認定者を対象に4日間の合宿研修を実施
- 中堅教員を対象に地域実践研修を実施



授業力向上

探究型学習の推進

小中学校課・高等学校課

中学校段階から生徒の主体性や課題解決能力を育成するため、**意欲的に探究的な授業づくりに取り組む中学校を公募により選定して、その実践研究の過程や成果を他校へ普及していくことにより、中学校の授業の質を高め、生徒の学習意欲や思考力、表現力を高めていく。**

また、郷土を愛し、その発展に貢献できる人材や高い志をもち高知から世界へチャレンジできるグローバル人材の育成を図るため、**高知南中学校・高等学校と高知西高等学校をグローバル教育の推進校とし、グローバル教育プログラム（探究型学習）と英語教育プログラムを開発・実践して、その成果を県内の県立高等学校に普及することで、本県の地域振興や産業振興に資する人材の育成を図る。**また、先導的な学校づくりを進めるため、国際バカロレア認定に向けた取組を推進する。

期待される効果

- 中学校段階において、生徒の学習意欲や思考力・表現力を育成し、全国平均まで学力を引き上げる。
- 生徒の論理的思考力や判断力、表現力を育成し、英語運用能力を高めることで、将来、本県の地域振興や産業振興を担う人材の育成につながる。また、国公立大学や難関大学などの生徒の進路実現を支援できる。

現状・課題

- 中学校段階において、ねらいを明確にした指導や探究の過程を意識した指導が十分行われていない。
- 少子高齢化やグローバル化の進行など、社会や経済の姿が大きく変貌している。
 - ・小学校5年生から英語が教科化（H32年度）
 - ・知識だけでなく、思考力や表現力等を問う大学入試制度へ（H32年度実施を検討中）
 - ・自ら学び判断できる若者、産業振興や地域振興を担っていく人材への期待

事業目標

- 中学校段階において、生徒が主体的に探究的な学習に取り組む学校を構築し、その実践を県内に普及する。
- グローバル教育プログラム（探究学習）と英語教育プログラムを開発・実践し、その成果を県内の県立高等学校に普及する。

実施内容

NEW

1 探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業 11,510千円（一）11,510千円（小中学校課）

教科や総合的な学習の時間において教員が協同して意欲的に探究的な授業づくりに取り組む中学校を指定（5校：委託費1校2,000千円以内）

県教育委員会

- ・指導、助言
- ・成果の普及
- ・手引きの作成、普及
- ・教員の大学院への派遣

学校・市町村教育委員会

- ・各教科との関連を図った総合的な学習の時間の研究と実践
- ・各教科における探究的な学習の研究と実践
- ・ICTを活用した授業研究
- ・地域との連携
- ・小中系統的なカリキュラムの作成
- ・県立高知南中学校の研究授業への参加

中学校の取組

NEW

2 グローバル教育推進事業 98,068千円（一）84,508千円

県立中・高等学校の取組

（高等学校課）

グローバル教育推進委員会

推進校

（高知南中高校・高知西高校）

評価・指導

問題解決能力の育成

思考力の育成

コミュニケーション能力の育成

- ・グローバル教育プログラム（課題研究、探究型学習）の実践・検証
- ・ICTを活用した教育環境の充実とカリキュラムの実践（Wi-Fiシステム、タブレットPCの整備）
- ・課題研究発表会の開催
- ・連携先での学習活動の実施
- ・英語教育プログラムの実践、検証

- ・グローバル教育フォーラムの実施
- ・国際バカロレア認定の研究
- ・海外留学への支援「羽ばたけ世界へ留学支援事業」

すべての県立高等学校
実践可能な取組を順次普及

※探究型学習…一般教科において、生徒と教員とのやりとりや、生徒同士で討議しながら進める授業形態の学習

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が決定したことにより、全国でスポーツに対する関心が高まり、さらに今後、国では選手育成をはじめスポーツを通じた様々な取組が強化される。この機会をとらえ、県民がスポーツ活動に親しみやすい環境を整えるとともに、オリンピック・パラリンピックや国民体育大会等で活躍する選手を本県から輩出することも見据えて、本県の子ども達の「夢」や「志」を育みながら、体力・運動能力の向上につながるスポーツの裾野の拡充からトップ選手のさらなる競技力向上までを一体的にとらえた施策を推進する。

1 体育学習及び健康教育等の充実

- ◆運動好きの子どもを増やすために小中学校の体育授業等の充実を図る
- ★こどもの体力向上支援委員会の設置

1. 体育・健康アドバイザー支援事業【5,817千円】 **新**

◆小中学校の体育学習の課題解決と健康教育の充実に向け、授業の質的向上や、学校組織全体での健康教育への取組を図るため、体育授業の改善及び健康教育充実のアドバイザーを派遣

2. こうちの子ども体力向上支援事業【3,687千円】 **新**

◆小学校の体育授業における副読本の活用及び体力向上に向けた課題対策

- ①副読本の検証・活用
- ②支援委員会による体力向上対策の策定

組替

3. 運動部活動サポート事業【7,385千円】

◆公立中学校及び県立高等学校の運動部活動に指導力のある外部人材を派遣



2 多様なアスリートライフスタイルの支援

- ◆競技団体の組織力向上や指導者のレベルアップに向けた支援の徹底
- ◆優秀な選手の発掘・育成の体制づくり
- ★競技力向上プロジェクトチームの設置

◆競技別育成強化計画の作成をはじめ、下記に示す競技力向上の核となる取組を効果的に実施するために、トータルアドバイザーを中心とした県内外の有識者によるプロジェクトチームを設置。

1. 競技力向上総合対策事業

◆競技別一貫指導プログラムによる系統だった育成強化事業や指導力向上及び組織体制の充実を目的とした研修講座を実施

(1) 競技スポーツ選手育成強化事業【91,925千円】 **組替**

- ①競技力向上プロジェクトチーム会議
- ②基礎強化 ③特別強化選手支援
- ④障害者スポーツ選手強化 ⑤アドバイザー招聘
- ⑥一貫指導プログラムによる育成強化
- ⑦コーチアカデミー

(2) 中学生競技力向上対策事業【11,441千円】

- ①基礎強化 ②中3対策

2. ジュニア選手育成事業【4,340千円】 **拡**

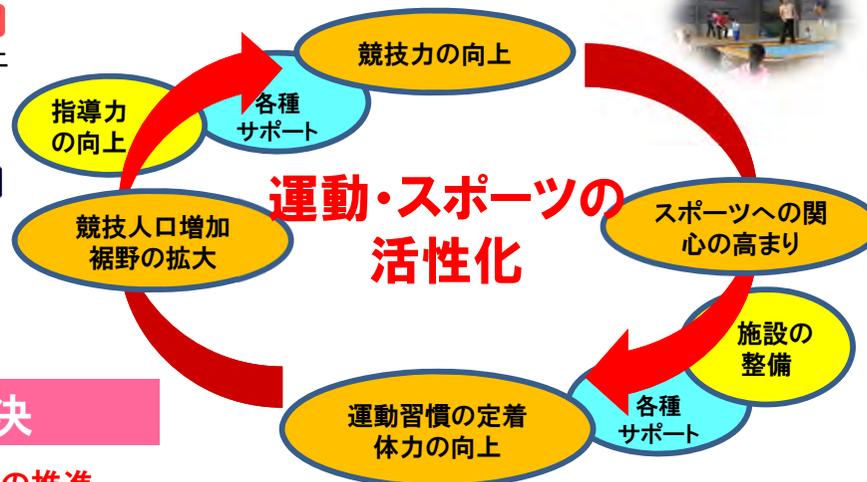
◆優秀な小学生の発掘・育成

- ①キッズプログラム(小学4～6年生) [*プログラム回数増] [*県外講師の活用増]

3. スポーツトータルサポート事業【4,809千円】 **組替**

◆スポーツ医・科学等を活用した各種サポート

- (1) 競技力向上サポート事業
 - ①パフォーマンスサポート ②メンタルサポート
 - ③メディカルチェック ④専門体力測定
 - ⑤トレーニングサポート ⑥栄養サポート
- (2) 指導者サポート事業
 - ①指導者研修講座 ②出張トレーニング指導



3 エリアネットワークによる課題解決

- ◆エリアにおける関係者間の連携・協働による取組の推進
- ★ネットワーク会議の設置

1. スポーツを通じたエリアネットワーク事業【5,701千円】 **新**

◆市町村や総合型クラブ等が連携し、各地域でのスポーツ振興に関する課題解決に向けた会議等の開催を通して、エリア内ネットワーク化を図るとともに、エリアネットワーク計画を策定し、地域の実態に応じたスポーツ振興を図る。

- (1) ネットワーク会議
 - ①エリアネットワーク会議準備会(県主導)
 - ②エリアネットワーク会議(ブロック協議会)

(2) 地域課題の解決のための取組
＜補助対象事業＞

- ①子供のスポーツ活動機会の充実事業
- ②住民の健康増進及びスポーツ人口の拡大事業
- ③スポーツを通じた地域活性化事業



4 スポーツを通じた地域活性化

- ◆国際交流やスポーツツーリズムの推進

◆県民のスポーツに対する関心の高まりと将来トップ選手を目指す子供達の意欲の向上、スポーツツーリズムによる経済の活性化を目的として国際大会の事前合宿を招致する。

1. 2015世界陸上北京大会事前合宿受入【5,790千円】 **新**

2. オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動【2,840千円】 **新**



5 スポーツ施設の整備

- ◆競技拠点スポーツ施設等の整備

◆各競技の拠点となるスポーツ施設や学校のトレーニング設備など県内のスポーツ施設・設備を整備

- ・県立青少年センター体操床等の更新【34,565千円】 **新**
- ・高知東高校レスリング場の整備(設計)【25,387千円】 **新**

「高知家の子ども見守りプラン」の推進（教育委員会）

事務局各課



高知家の子ども見守りプランに基づき、知事部局、教育委員会、警察本部が連携して少年非行の防止に向けた取組を進めていきます。

①非行を未然に防ぐ「予防対策」②非行の入口にいる子どもたちを向かわせない「入口対策」③立ち直りを支援する「立ち直り対策」の3つの対策を推進し、PDCAサイクルを回しながら、さらなる効果的な防止対策につなげ課題解決を図っていきます。

予防対策

入口対策

立ち直り対策

学校の組織的な取組の強化

生徒指導の充実

心を耕す教育の推進

発達への気になる子どもへの支援の充実

関係機関と連携した施策の強化

拡 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業

志育成型学校活性化事業 【5,256千円】

11中学校
統括アドバイザーによる助言等を通じて開発的な生徒指導を組織的に推進



NEW 未来にかがやく子ども育成型学校連携事業

2中学校区 【2,852千円】
指定地域の小中学校が連携し、開発的な生徒指導を小学校にも展開

薬物乱用・喫煙防止対策の強化に向けた教職員の研修会の開催

緊急学校支援チームの派遣
緊急事案発生時の専門家の派遣
【1,188千円】

生徒指導ハンドブックを生徒指導主事会、校内研修等で活用し、指導体制を強化

・生徒指導推進協力員・学校相談員の配置（9市町9人）
・生徒指導スーパーバイザーの配置（高知市6人）

【14,136千円】

学級づくりリーダー活用推進事業 【1,395千円】
学級づくりリーダーによる市町村全域での啓発の展開

校種間連携の推進

教育相談体制の充実

小中合同生徒指導主事（担当者）会の開催
【1,432千円】

拡 スクールカウンセラー・心の教育アドバイザー等の配置 【184,911千円】
(270校→299校)

※小学校への配置拡充
※2中学校に週5日配置
※2中学校区に小中連携配置

支援引き継ぎシートを用いた支援体制の確立

拡 スクールソーシャルワーカーの配置 【100,868千円】（42人→65人）
※2市村、6県立学校への配置拡充
※県単独事業による重点配置（7市）

巡回相談員派遣事業 【1,342千円】
専門家チーム等による学校支援の推進

拡 ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト 【8,469千円】
(3中学校区→4中学校区)

関係機関との連携による取組

- 非行防止対策ネットワーク会議
- 知事部局
- 県警本部
- 市町村
- 要保護児童対策地域協議会 など

小中学校におけるキャリア教育の推進 【3,967千円】
道徳教育の推進 【17,433千円】

学校図書館活動の推進（ことばの力育成7以外推進事業）
【66,918千円】

親育ち支援啓発事業 【1,422千円】
良好な親子関係構築への支援

NEW 特別支援保育専門職員の育成
保育士等の大学派遣に要する経費を支援 【6,163千円】

高等学校生徒支援コーディネーターを中心とした支援の充実 【412千円】

特別支援教育学校コーディネーターの研修及び支援引き継ぎシートの活用 【520千円】

市町村に親育ち・特別支援保育コーディネーターを配置 【19,740千円】

専門的な教員の養成（大学派遣） 【7,131千円】
特別支援教育コースに6名派遣 など

医療・福祉・労働分野等と連携した個別的教育支援計画の作成への助言

拡 学校支援地域本部等事業 【41,679千円】
地域社会全体で学校を支える仕組みづくりの推進

拡 放課後子ども総合プラン 【599,698千円】
放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実

補導教員の配置（高知市8人、他13市町村13人）及び非行少年への支援
補導専門職員の配置（7町村7人）及び非行少年への支援 【15,800千円】
少年サポートセンターへの教員の配置（5人）及び非行少年への立ち直り支援

NEW 幼児期から望ましい生活習慣を確立するために、パンフレットを作成し保育所等で学習会を実施 【3,803千円】

「よさこい健康プラン」に基づく健康的な生活習慣の確立に向けた支援

拡 若者の学びなおしと自立支援事業 【25,257千円】
若者サポートステーションとの連携による就学・就労支援
支援プログラムの活用と地域が連携した支援体制の構築

親子で考えるネットマナーアップ事業 【573千円】
携帯電話・スマートフォン等の利用実態調査、情報モラル教育の推進
や保護者への啓発リーフレットの作成・配布

学校ネットパトロール事業 【4,106千円】

いじめ防止対策の総合的な推進

事務局各課

「高知県いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応の両面から、いじめ問題等への総合的な取組を推進する。

表：いじめの認知件数の状況
(国公立学校 1,000人当たり)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
高知県	3.7件	8.7件	6.9件
全国	5.0件	14.3件	13.4件

未然防止

心を耕す教育の推進 開発的生徒指導の推進

□ 拡 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業 (8,108千円)

- ・志育成型学校活性化事業 (11中学校)
- ・**NEW** 未来にかがやく子ども育成型学校連携事業 (2中学校区)

教育活動の中に生徒指導の視点を着実に位置づけ、PDCAサイクルに基づく開発的な生徒指導(子どもに内在する力や可能性を引き出す生徒指導)を組織的に推進

□ 小中学校におけるキャリア教育の推進 (3,967千円)

□ 道徳教育の推進 (17,433千円)

□ 学校図書館活動の推進 (66,918千円) (ことばの力育成プロジェクト推進事業)

□ 市町村のいじめ防止に向けた活動への支援 (836千円)

各学校における児童生徒の自主的ないじめの防止等の取組や、各市町村が実施するいじめ防止に向けた活動等を支援

□ 親育ち支援の推進 (2,683千円)

子どもの健やかな育ちにつながる子育て力の向上に向けた保護者向けの講話等や一日保育者体験の実施

教職員の資質能力の向上

□ いじめ問題についての校内研修支援

□ 生徒指導ハンドブックを生徒指導主事会、校内研修等で活用し、指導体制を強化

□ 学級づくりリーダー活用推進事業 (1,395千円) リーダーを活用した市町村全体の学級経営力の向上

□ 人権教育推進リーダー育成事業 (475千円)

小・中・高・特別支援学校の教員11名を指定し、研究テーマに沿った研修を実施

□ 拡 ユニバーサルデザインによる学校はぐみプロジェクト (8,469千円) 【3中学校区→4中学校区】

学校・家庭・地域・関係機関が 連携した取組の促進

□ PTA人権教育研修への支援 (40千円)

PTAが実施する研修会を通じたいじめ問題についての保護者への啓発の推進

□ 拡 学校支援地域本部等事業 (41,679千円) 地域社会全体で学校を支える仕組みづくりの推進

□ 拡 放課後子ども総合プラン (599,698千円) 放課後の子どもの居場所づくりと学びの場の充実

早期発見・早期対応

いじめの実態把握

□ いじめアンケートの実施(年2回以上)

教育相談体制の充実

□ 拡 スクールカウンセラー等活用事業 (149,978千円)

□ 拡 心の教育アドバイザー等活用事業 (34,933千円)

H26: 270校→H27: 299校
※小学校への配置拡充 ※2中学校に週5日配置
※2中学校区に小中連携配置

□ 拡 スクールソーシャルワーカー活用事業 (100,868千円)

H26: 25市町村、3県立中配置(42人)
→H27:
※27市町村、3県立中、5県立高、1特支配置(50人)
※**NEW** 県単独事業による重点配置(7市、15人)

□ 生徒指導推進事業 (14,136千円)

- ・生徒指導推進協力員・学校相談員(9市町9人)
- ・生徒指導スーパーバイザー(高知市6人)

□ 24時間電話相談事業 (7,327千円)

緊急事案発生時の学校支援

□ 緊急学校支援チームの派遣(1,188千円)

ネット上のいじめ等への対応

□ 親子で考えるネットマナーアップ事業 (573千円)

情報モラル教育の推進や保護者への啓発リーフレットの作成・配布

□ 学校ネットパトロール事業 (4,106千円)

市町村(学校組合)教育委員会、学校の取組への支援

厳しい環境にある子どもたちへの支援の充実

事務局各課

就学前

◆親育ち支援啓発 [1,422千円]

- 保護者研修 H27予定：50回 1,000人程度
- 保育者啓発 H27予定：50回 500人程度

◆基本的生活習慣向上事業 [3,803千円]

- 保護者用啓発パンフレットを作成し、全保育所・幼稚園等を通じて保護者に配布
- ・パンフレットの活用に関する説明会（保育者対象）
- ・基本的生活習慣についての講演会（保護者・保育者等対象）

◆加配保育士等の配置拡充 [19,740千円]

- 市町村へのコーディネーターの配置 [19,740千円]
要対協との連携、支援計画の進捗管理 など
H26：5市町村5人→H27：13市町村17人
- 加配保育士の配置 [47,337千円] ※26年度2月補正
課題を有する子どもの洗い出し、関係機関とのつなぎ、保護者へのアプローチ など
H26：41人→H27：68人

◆一時預かり利用料の減免 [1,674千円]

◆学校地域連携推進教員(4名)の配置

- 学校と地域をつなぐコーディネート役としてコミュニティ・スクールや学校支援地域本部の立ち上げ、活動の充実を支援
- 各教育事務所（東部・中部・西部）及び高知市に配置

⇒様々な困難を抱える子どもたちが健やかに育つことができる環境づくりを学校・家庭・地域が連携して支援

小学校

◆学校での補充学習

放課後等学習支援員を新規配置 [16,160千円]
学校経営計画に基づく低学力対策の強化

H27実施予定
・支援員新規配置予定：12市町 43校 80人
・5～10h/週 延べ25,600時間

◆放課後子ども教室①

H26：135か所
→H27：142か所

H25実績（※高知市除く）
利用人数：1,726人/日、
平均開催日数：158日/年、
宿題：89%、宿題以外学習：46%

◆放課後児童クラブ②

H26：138か所
→H27：151か所

H25実績（※高知市除く）
登録人数：2,663人、平均開催日数：259日/年、
宿題：100%、宿題以外学習：52%、おやつ：100%

H27：実施率94%
※全公立小における
学びの場設置率

高知市も支援
対象に拡充

○放課後学びの場
充実事業

- ・地域人材の協力による教科の学習支援（学習支援員の加配：約100人分）
- ・教材等の購入に係る経費への支援

中学校

◆学校での補充学習

放課後等学習支援員を新規配置 [41,469千円]
生徒の状況に応じた個別指導の充実（学校経営計画に基づく低学力対策の強化）

H27実施予定
・支援員新規配置予定：22市町村 64校 119人
・2～4h×3～5回/週 延べ63,056時間
・参加予定生徒数：3,443人

◆放課後学習室③

H26：40か所
→H27：41か所

H25実績（※高知市除く）
利用人数：492人/日、
平均開催日数：91日/年、
宿題：57%、宿題以外学習：83%、
補習：91%、入試対応：83%
（以上で学習実施100%）

H27拡充の方向
・教材購入等経費をメニューに新設（27か所予定）

H27：実施率81%
※全公立中における
放課後の学習支援

①②③
放課後子ども総合プラン
推進事業 [599,698千円]

高等学校

◆学習支援員の配置拡充 [13,993千円]

放課後や長期休業期間中に、基礎学力の定着状況に課題のある生徒への補力補習を実施

H26：延べ60人1,835時間
→H27：延べ90人4,980時間

◆課題のある生徒への個別支援の充実

- 支援の必要な生徒に対し、個別の支援計画を作成し、組織的に支援（H26～）
- 補力補習、習熟度別学習の充実
- 相談体制の充実（H27実施内容）
・SC等：全公立校に配置、うち15校に週2日配置
・SSW：新たに県立5校に配置

◆教育費負担の軽減

- 高等学校等就学支援金 [934,497千円]
支給対象 H26：1学年→H27：1・2学年
- 高校生等奨学給付金 [158,078千円]
支給対象 H26：1学年→H27：1・2学年
- 高等学校等奨学金の貸与 [382,368千円]
- 授業料免除
海洋、東の専攻科の生徒の家計状況によって授業料を減免（半額または全額）

◆生活困窮者への学習支援(H27)

- ・2町村2か所（学校の空き教室）
- ・1～2h×1～2回/週
- ・指導者：地域住民
- ・参加予定児童数：約10名

◆生活困窮者への学習支援(H27)

- ・10市町村22か所（公民館等）
- ・2h×2～3回/週
- ・指導者：教員OB、大学生等
- ・参加予定生徒数：400～500人

知事部局所管

学校

地域

コーディネート

小中学校での放課後の支援等を受けない（受けられない）子どもたちをカバー！！

◆スクールカウンセラー等の教育アドバイザー等(SC等)の配置拡充 [184,911千円]

H26：270校
（小113,中107,高37,特13）

H27：299校（小141,中107,高37,特14）
※問題行動の低年齢化に伴い小学校に配置拡充
※生徒指導上、大きな課題を抱える中学校に重点配置
・2中学校に週5日配置・小中連携配置2中学校区

◆スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置拡充 [76,583千円]

H26：42人（25市町村,3県立中）

H27：50人（27市町村,3県立中,5県立高,1特支）
※長期欠席など支援が必要な生徒を多く抱える県立高校、特別支援学校へ新たに配置

左記の通常配置に加え、新たに、

◆特に厳しい状況にある子どもたちへの支援を充実させるため、SSWを重点配置

高知市等の市部では、現在の国庫補助対象となるSSWの配置のみでは支援が十分に行き届いていない現状がある。特に厳しい状況にある子どもに対して、福祉部門と連携した支援を行うとともに、居場所づくりや学びを保障するため放課後学習室やチャレンジ塾等への誘導を促すなどの支援を充実・強化するため、県単独事業としてSSWの追加重点配置を行う。 [24,285千円]

- 高知市：新たに8人を追加配置（高知市計16人）
- 高知市以外：6市に7人を追加配置

⇒さるる支援を必要としている子どもへの支援の充実
⇒これまで支援が行き届かなかった子どもへの支援の拡充

地域と学校が総ぐるみで子どもたちを育む取組

事務局各課

ユニバーサルデザインによる授業改善や、開発的な生徒指導など、課題解決型の効果的な取組を県下に普及させるべく拡充させるとともに、地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制づくりを推進することで、地域と学校が総ぐるみで子どもたちを育む取組の定着を図ります。

効果的な課題解決型の取組を県下全域に普及

⇒各校が学校経営計画に位置付け

ユニバーサルデザインによる授業改善
誰もが「わかる!」「できる!」

学校経営計画に基づく
学力向上(全小・中学校)

開発的な生徒指導
内在する力や可能性を引き出す!

校種間連携

校種間連携

校種間連携

- ・放課後等の学習支援
- ・土曜日の教育支援活動
- ・防災活動

- ・安全・安心な居場所
- ・体験活動
- ・子どもの見守り など

学校支援地域本部

放課後子ども総合プラン

地域住民の参画

(保護者、地域のスポーツ・文化団体、学生、退職者、様々な資格・経験・技能を持つ人 など)

- ・公開授業、実践発表(研究発表)
 - ・悉皆研修
 - ・実践事例・活用事例集
- などにより取組の成果、課題を発信

◆ 拡 学校支援地域本部等事業【生涯学習課：41,679千円】

「学校支援地域本部」による地域ぐるみの学校支援活動
地域による教育支援活動を通じて更なる学校教育の充実と地域全体の教育力の向上を図る

H26：19市町村35支援本部 75校

→H27：22市町村40支援本部 84校 (うち放課後学習実施 中学12校)

◆ 拡 放課後子ども総合プラン【生涯学習課：599,698千円】

放課後等に子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の多くの方々の参画を得て、様々な体験・交流・学習活動の機会を提供するとともに、それらの居場所を活用した「放課後学びの場」で子どもたちの学びを支援

H26：子ども教室(小学135、中学30)、児童クラブ138

→H27：子ども教室(小学142、中学29)、児童クラブ151

◆ 拡 地域をつなぐ!子どもが伸びる!ユニバーサルデザインによる学校はぐくみプロジェクト【特別支援教育課：8,469千円】

- ・中学校区において、配慮を要する子どもを保幼小中が連携し確実に「つなぐ」
- ・すべての子どもが「わかる」「できる」ユニバーサルデザインの授業実践の普及を図る

H26：東部・中部・西部各1地区 計3地区

⇒H27：東部・西部各1地区、中部2地区 計4地区(その他フォロー1地区)

◆ 拡 高知夢いっぱいプロジェクト推進事業【人権教育課：8,108千円】

開発的な生徒指導(子どもに内在する力や可能性を引き出す生徒指導)に組織的に取り組めるよう推進校を重点的に支援し、その取組、成果を県下へ普及させる

H27はこれまでの成果を小学校へ普及させるため、小中連携推進校を指定し、9年間を通した組織的な生徒指導推進体制の確立を目指す

○志育成型学校活性化事業：推進校11中学校

NEW ○未来にかがやく子ども育成型学校連携事業：小中連携推進校2中学校区

高知県の将来を担う子どもたちの“命を守り、命をつなぐ”ための 学校等における南海トラフ地震対策

学校等の施設内での安全を確保するための 学校施設等の耐震化等の促進

H27当初：4,724,639千円
(H26当初：6,079,059千円)

- ① 県立学校の耐震化促進**【学校安全対策課：3,008,948千円】
 - ・ 県立学校施設の耐震化 * 県立学校：平成27年度末耐震化完了予定
 - ・ 県立学校の非構造部材（吊り天井・外壁）の耐震化
- ② 公立小中学校の耐震化促進**【学校安全対策課：137,326千円】
 - ・ 耐震等工事に対する国庫補助制度への上乗せ補助（県単独補助）
 - * 公立小中学校《目標》平成27年度末耐震化率：96.4%
 - * 耐震診断は平成26年度交付決定分で事業終了
- ③ 保育所・幼稚園の耐震化促進**【幼保支援課：696,576千円】
 - ・ 耐震診断に対する補助 ・ 耐震工事に対する補助
 - * 保育所・幼稚園《目標》平成27年度末耐震化率：92.0%
- ④ 保育所・幼稚園等の安全確保対策の促進**【幼保支援課：320,874千円】
 - ・ 高台移転及び高層化のための検討に要する経費に対する補助（県単独補助）
 - ・ 高台移転及び高層化に伴う施設整備への補助（県単独補助）【312,550千円】
 - ・ 窓ガラス飛散防止フィルムの施工に対する補助（県単独補助）
 - ・ 乳幼児の避難車購入に対する補助（県単独補助）
- ⑤ 青少年教育施設の安全確保**【生涯学習課：554,686千円】
 - ・ 青少年センター改築工事 等
- ⑥ 文化財の防災対策**【文化財課：958千円】
 - ・ 建築物や美術工芸品等の地震防災対策の推進
- ⑦ 放課後子ども教室等の安全対策**【生涯学習課：5,271千円】
 - * 放課後子ども教室等におけるヘルメット等の整備、防災出前講座の実施（県単独補助）



被災後安心して学校で避難生活ができるようにするための

県立学校への食料・水等の備蓄

H27当初：36,296千円
(H26当初：69,781千円)

- ・ 学校で被災後、児童生徒が安全に帰宅できることが確認できるまでの間(3~5日)に必要な食料等の備蓄を更新する
- ・ 長期浸水区域の学校に緊急時移動用ボートや災害用マット等を整備する
- ・ 各学校に救助用工具や救命用具等を整備する

「自分の命は自分で守る」「他者や社会の安全に貢献できる」ようになるための 防災教育の徹底

H27当初：17,088千円
(H26当初：19,455千円)

学校を中心とした取組 【学校安全対策課】

- ① 防災教育研修会**【1,577千円】
 - 安全教育プログラムに基づく指導方法等や先進事例等を伝えることにより、学校の危機管理能力・防災力を高める
 - * 学校悉皆研修（県内3か所実施：東部・中部2日・西部）
- ② 防災教育指導事業**【4,403千円】
 - * 防災学習教材「南海地震に備えちよき」改訂
 - * 安全教育プログラムの徹底 等
- ③ 実践的防災教育推進事業**【4,779千円】
 - 緊急地震速報等を活用した避難訓練や公開授業等の先進的・実践的な防災教育を行い、取組内容を発信する
 - * 12校で実施予定
- ④ 学校防災アドバイザー派遣事業**【1,833千円】
 - 学校等に学校防災アドバイザーを派遣し、避難経路や避難場所等の点検や防災学習を実施する * 100校に派遣予定
- ⑤ 防災キャンプ推進事業**【1,600千円】
 - 地域住民や保護者とともに学校等で避難生活を体験する
 - * 4地域で実施予定
- ⑥ 実践訓練研修の実施**【1,518千円】
 - * 県立学校等の教職員や生徒を対象とした避難所運営訓練（HUG）等の実施 * 8回実施予定



高知県防災キャラクター
©やなせたかし



つなみまん



保育所・幼稚園等への取組 【幼保支援課】

南海トラフ地震対策研修等事業【1,378千円】

- ・ 防災教育等研修会の開催
- 園児の安全能力の育成に係る研修や各園の防災マニュアルの検証・情報交換等を行い、保育所・幼稚園等の防災力の向上を図る（3か所実施予定）

学校安全対策チェックリスト等による
学校等の取組状況 確認・指導

子どもたちの命を守る！
1人の犠牲者も出さない！

子どもたちの命をつなぐ！

平成26年度から10年間の県立高等学校再編振興計画 (平成26年10月策定)

基本的な考え方を実現するために (H27当初予算)



再編振興計画の基本的な考え方

- 1 キャリア教育の充実
- 2 生徒や保護者の期待に応える教育活動の推進
- 3 生徒数の減少に対応するための適正な学校規模の維持と適切な配置
- 4 南海トラフ地震への対策の推進
- 5 次代を担う人材を育てる教育環境の整備

- 高校生の志を応援する事業** 94,222千円 (一) 91,341千円
高知のキャリア教育の3つの柱である「学力向上」「基本的な生活習慣の確立」「社会性の育成」のうち「学力向上」に重点化して、「生徒の学習支援」「教員の指導力の向上」「学校の学習支援体制の充実」を図り、生徒の高い志の実現を支援する。
- グローバル教育推進事業** 98,068千円 (一) 84,508千円
グローバルな課題について、生徒自ら課題研究に取り組むことで、論理的思考や判断力、表現力を身につけるとともに、英語運用能力の向上を図り、将来グローバル人材として活躍できる資質を育成する。
- 施設整備費** 70,856千円 (一) 70,856千円 (債務負担71,814千円 (一) 18,814千円)
前期実施計画において、統合を実施する学校に必要な施設整備を行う。

前期実施計画における主な取組

県立高等学校の統合

新中高一貫教育校

高知南中高校と高知西高校を統合し、現在の高知西高校の敷地に新たな中高一貫教育校を設置する。(平成35年度統合完了)

高吾地域拠点校

須崎工業高校と須崎高校を統合し、現在の須崎工業高校の敷地に高吾地域の拠点校を設置する。(平成31年度統合完了)

中山間地域の学校の取組

学び直しの機能を持った学校の取組

H27

- グローバル教育推進事業**…高知南中高校と高知西高校を推進校として、グローバル教育を推進する。また、国際バカロレアの認定に向けた取組を進める。
・グローバル教育プログラム(課題研究、探究型授業)の実践・検証
・ICTを活用した教育環境の充実とカリキュラムの実践
・英語教育プログラムの実践・検証
- 施設整備費**…中学校併設、グローバル教育実施に必要な施設整備を行う。(基本設計、実施設計、地質調査)

- 統合に向けた取組の実施**
・学力向上対策 ・教員の指導力の向上
・教育課程等の調整 ・両校の交流
- 施設整備費**…普通科・定時制の設置、狭隘対応として必要な施設整備等を行う。(基本設計等)

- 高校生の志を応援する事業**…ICTを活用した多様な科目を選択できる遠隔教育を検討する。

- 高校生の志を応援する事業**…学び直しや特別の支援を要する生徒に対応するプログラムや、生徒の多様な進路に対応できるカリキュラムの開発・研究

H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35~

国際バカロレアの認定に向けた取組

併設中学校開校

グローバル教育プログラム、英語教育プログラムの実践

高等学校開校

統合完了

実施設計・建築

実施設計・建築

遠隔教育プログラムの開発・実践、配信方式の検討・試行

運用

運用

到達目標

- グローバル教育の県内トップ校かつ大学進学拠点校
- 取組の成果を他の県立高校へ普及することによる、本県の地域振興や産業振興を担うグローバル人材の育成

さらなる国公立大学進学と就職率100%を維持し、生徒の多様な進路希望に対応する高吾地域の拠点校

進路希望に応じた学びの機会・質の保障

不登校や中途退学を経験した生徒の支援体制の維持